

2024年
9月

YAMATO GAWA 図書館だより

～新刊の紹介～

2学期のスタートとともに、185冊の新しい本が入荷してきました。どの本もすぐに貸出できます。

日中の暑さに比べて夜間が涼しくなってきたこの頃、本を開いて世界を広げよう。

「ハイキュー」「54字の物語」「薬屋のひとりごと」といった人気シリーズをはじめ、いろんなジャンルの本があります。
詳しくはR6年度9月 新刊リストをみてください！

今回の
イチオシ
はコレ！



アンナの戦争： キンダートランスポートの少女の物語

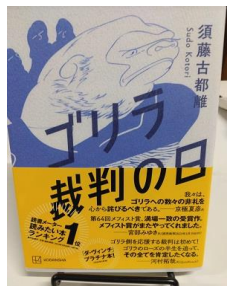
エレン・ヘレン・ピーターズ 作、尾崎愛子 訳／偕成社

ナチスの支配するドイツからイギリスに疎開した少女の冒険物語。「幸せになる努力を。人にやさしく。与えられた機会は最大限に生かすのよ」両親からもらった言葉に応えるアンナは、ドイツのスパイを見つけて…。サスペンスや友情といったエンタメ性もあり、読みやすい物語です。

ゴリラ裁判の日

須藤古都離 著／講談社

女性ゴリラのローズの夫が、檻に侵入した4歳の人間の子どものために銃で殺される。ゴリラの命は人間よりも軽い？ 読んでいうちに彼女の気持ちに感情移入してしまう。あなたはどう思いますか？



天気のことわざは本当に当たるのか考えてみた

島野智之 著／ベレ出版

「アマガエルが鳴くと雨」など日本には、昔から言い伝えられてきた、天気に関することわざがたくさんあります。これを知っていると、アウトドアでも役立つ！



成瀬は信じた道をいく

宮島未奈 著／新潮社

「成瀬」シリーズ第2弾！ 滋賀県の観光大使になった女子大生の成瀬は、またしても周りを巻き込みながら、成長していく。ギャグもふんだんにあり、これを読んだら琵琶湖に行きたくなること必須！



ミスターオレンジ

トゥルース・マティ 作／朔北社

第2次大戦中、ニューヨークに住む少年がオレンジの配達先として外国人画家と出会う。戦争の悲惨さの前では人間の想像力なんて何の役にも立たないという少年に、画家(実在の画家モンドリアン)が教えてくれたことは…



だれが歴史を書いているの？：歴史をめぐる15の疑問

ピエルドメニコ・バッカラリオ フェデリーコ・タッディニア 著／太郎次郎社エディタス

過去の出来事を知ることで、未来も変えていける！ でも物事は見る人の国や立場で違って来るよね。それを「歴史」として残しているのは誰？ そもそも歴史とは？ のわかりやす〜い本です。



とどけ！ボールつなぐれほぐらの言葉

村上晃一 著／あかね書房

チームメートとのコミュニケーションに苦労しながらも、耳が不自由なハンディを乗り越えて大学ラグビー日本一に貢献した著者。どうやって？ と思ったら、まずは、彼を知ることからはじめよう。

